HONDA CRF250 RALLY
POWER BOX PIPE
取付説明書

<商品内容>

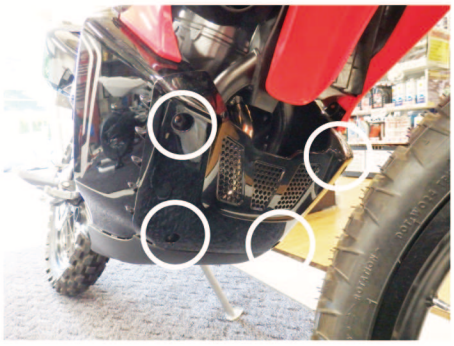
① POWER BOX PIPE	×1

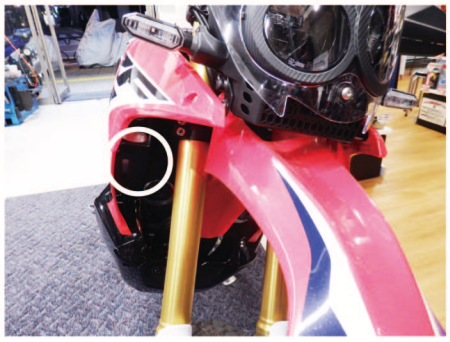
<取付所要時間の目安>
約45分

※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
※ 本製品にはエキゾーストガスケットは付属しておりません。取り付け後の排気漏れを防ぐ為にも車種専用の物をご購入の上、新品に交換して下さい。
※ 作業時のキズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を 貼って養生しておく事をお勧めします。

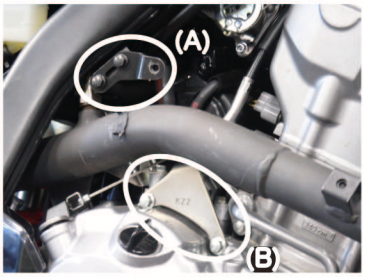
❶ 外装パーツを取り外します。

○で囲んだビス 、クリップを全て緩めて取り外します。

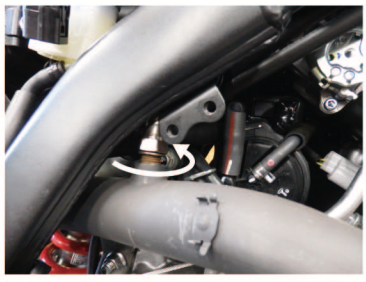




❷ 純正 エキゾーストパイプを取り外します。

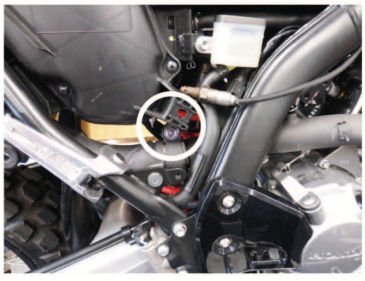


フレームに付いている外装用のサブステー(A)と
エンジンに固定されている
クラッチケーブル・ホルダー(B)を取り外します。



排気ガスセンサーを配線を傷めない様に
注意しながら取り外します。
後でパワーボックスパイプに再び取り付けます。

配線がねじれて無理な力がかかる事で
断線しない様にあらかじめカプラーを
抜いて配線を自由にして作業します。



エキゾーストパイプとサイレンサーボディー
のジョイント部を固定しているバンドの
ボルトを充分に緩めておきます。

フランジを固定しているナットを外し、
純正エキゾーストパイプを取り外します。
ナットは後で再使用します。

ジョイントガスケットがサイレンサー側に
残ってしまった場合にはサイレンサーボディーを
車体から一旦取り外し、ガスケットを
きれいに取り除いて下さい。(再使用しません)

サイレンサーボディーは2ヶ所でフレームに固定されています。

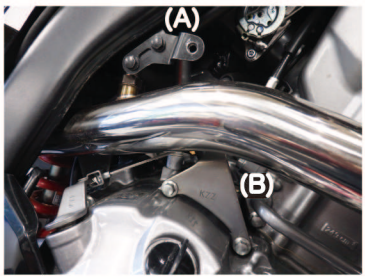
---

❸ パワーボックスパイプを組み付けます。

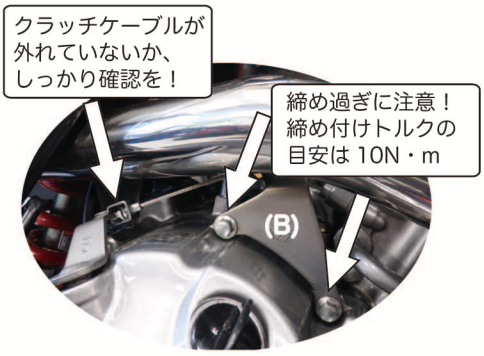
※サイレンサーボディーとの接合部に金属のガスケットは使用しません。ダイレクトに組み付けます。

エキゾースト・ガスケットを新品に交換した後パワーボックス・パイプを仮組みします。
フランジの固定には純正のナットを再使用します。

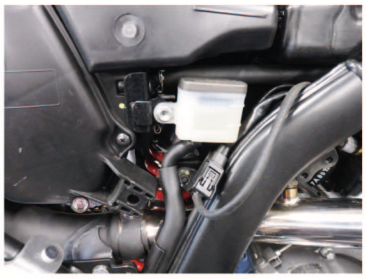
サイレンサーボディーとの接合部から排気が漏れたり
水滴が垂れる事がありますので あらかじめ液体ガスケットを
薄く塗布してから組み込む事をおすすめします。
サイレンサーボディーの奥までパイプがしっかりと
入っている事を確認し、バンドを仮締めします。



排気ガスセンサーを取り付け穴に固定、
本締めした後、外装用のサブステー (A) と
クラッチケーブル・ホルダー(B)を
元通りに取り付け、本締めします。



排気ガスセンサーを取り付け穴に固定、
本締めした後、外装用のサブステー (A) と
クラッチケーブル・ホルダー(B)を
元通りに取り付け、本締めします。



排気ガスセンサーのカプラーを接続し、
配線を元通りに納めます。
クラッチレバーを握り，クラッチケーブルが正常に
作動する事を確認します。

---

❹ 各部のクリアランスや取付状態を確認し、仮組みしていた箇所全てを本締めします。

本締めを終えたらパイプに付着した汚れや油分をパーツクリーナーなどの脱脂剤でしっかりと拭き取って下さい。
汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意下さい。
エンジンを始動し、各接合部から排気漏れの無い事を確認します。

---

❺ 取り外していた外装パーツを元に戻して作業終了です。

最後に外装パーツの内側とパワーボックスパイプとの間に十分なクリアランスが確保されている事を確認して下さい。

※ マフラー装着完了後も、取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
※ 装着直後は、しばらくの間マフラー内部に残った油分により、
白煙や臭いが発生する場合がありますが、問題はございません。
※ パワーボックスパイプ装着後には『チリチリ・・・』と云う音が若干聴こえますが
これは排気ガスがパワーボックス内で膨張した時に発生する音です。
特に問題はございませんのでパワーボックスパイプ特有の音としてご理解下さい。
※ 本製品はステンレス素材を使用しております。ステンレスはその特性上熱によって焼け色が付いてきますが、
異常ではありませんのでご安心下さい。(状況によっては均一ではなくまだら模様に焼け色が付く事があります。)
また、この焼け色を落とすには弊社より発売中の『ホロクリンジェル SP』（品番：HC-03）をお使いいただきますと
非常に効果的に焼け色を落とす事ができます。

上記内容も合わせて良くご理解いただいた上でご使用下さい。